

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	基礎演習Ⅱ	小林 俊哉	1年次	秋

授業のキーワード	マスメディア、メディアリテラシー、新聞、テレビ、ニュース
授業の概要	デジタルメディアの驚異的な発達により、私たちのマスメディアとのつきあい方も変わらざるを得ません。ありとあらゆる情報に目撃するメディアをどのように考え、またそれとどのようにつきあうのか。その基本的なスキルを学び、メディアとの理想的な「つきあい方」を考えます。
期待される学習成果（目標）	1. マスメディアとは何か、またそれとの上手なつきあい方を理解できる。 2. さまざまなメディアについてそれぞれの特徴がわかる。 3. メディアに掲載されるさまざまなニュース項目を理解できる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	マスメディアとつきあうということはどうことなのか、その基本について話しします。またゼミの進め方、さらにはゼミ論文について話しします。	第9講	テレビドラマについて（その2）	前講引き続き、テレビドラマについて考えます。特にドラマが宣伝場プロモートする商品、また社会との関連性を中心に観覧します。
第2講	自分にとってのメディア	自分にとってそもそもマスメディアとは何か、どのような役割があるのか、いつ必要なのか、これらの視点で「マスメディア」を持つ個人的な意味を考えます。	第10講	ニュース報道について	メディアにとってニュース報道は極めて重要な分野です。ニュース報道とはどのようなものがあり、どのような構成を有しているのかなど、ニュースの基本を考えます。
第3講	これまでのメディア体験	誰でもマスメディアとは幼少期からさまざまなつきあいをしてきたはず。それをあらためて振り返り、メディアによってどのような個人的な影響を受けてきたのかを考えます。	第11講	ニュース報道について（その2）	いくつかのメディアのニュースを取り上げ、なぜ特定のニュースが取り上げられまた取り上げられないのかなど、ニュースの取捨選択に伴う「価値観」について考えます。
第4講	テレビとの接触	最も身近なメディアの一つがテレビです。自分ことでのテレビの視聴パターンはどのような意味が隠されているのか、ここを一つの手がかりにして、メディアとしてのテレビを考えます。	第12講	ニュース報道について（その3）	ニュースが取り上げられる人一つの手がかりに、ニュースの特性を考えます。「旬な人」とはどのような人なのか考えます。
第5講	メディアと流行・ゼミ論文	マスメディアが流行を作り出すのか、流行があるからメディアがそれを取り上げるのか、このようにメディアと世の中の流行とは、切り離せない関係性を持っています。メディアと流行との関係について考えます。また期末に提出するゼミ論文についての説明を行います。	第13講	2014年の大ニュース	2014年起こった大ニュースを振り返り、それぞれのニュースが自分ことどのような意味を持っているのかを考え発表します。
第6講	テレビコマーシャルについて	テレビコマーシャルをメディアとして考えます。どのような数量のコマーシャルが流れているのか、特別な技法などどのように使われているのか、誰をターゲットにしているのか、自分自身に与えたコマーシャルは何かなどの観点で考えます。	第14講	まとめ	これまで扱ってきた事象振り返ります。またゼミ論文の仕上げ作業を行います。
第7講	テレビコマーシャルについて（その2）	個人的な生動から社会のあり方、また国際関係までテレビコマーシャルには常に一定の価値観が内在しています。その価値観とはどのようなものなのか、私たちことどのような影響を与えているのかについて考えます。	第15講	まとめ（その2）	ゼミ論文の最終確認をした上で提出します。
第8講	テレビドラマについて	かつてテレビドラマはテレビの華でした。これまで視聴してきた、あるいは現在視聴しているドラマを手がかりに、テレビドラマと私たちの関係について考えます。	定期試験		期末に提出するゼミ論文を定期試験に代えます。
評価方法		不定期に行う個人・グループによる口頭発表 40% ゼミ論文 60%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて授業中に指示します					